

ウッドエイド WOOD-AID®
ボロンテック

塗装マニュアル

Ver.1.2



まえがき

この度はウッドエイド ボロンテックをご利用いただき誠にありがとうございます。

ウッドエイド ボロンテックは耐候性木材用撥水剤である「ウッドエイド」に天然鉱物から作られた「DOT(八ホウ酸二ナトリウム)」等を配合することにより、高い安全性を実現しながらも、撥水性だけでなく、防虫・防腐・防カビ・防藻の機能も付与した撥水性木材保護剤です。

本書はウッドエイド ボロンテックの塗装や塗り替え時の素地調整について記載しています。正しくお使いいただき、十分に性能が発揮できるようマニュアルに従って塗装されることをお勧めします。

ご使用される前に必ず最後までご一読下さい。

●製品仕様

商品名：ウッドエイド ボロンテック

品 名：合成樹脂塗料（水系）

色 名：透明（外観：乳白色）

成 分：合成樹脂（シリコンゴム）、八ホウ酸二ナトリウム四水和物、防カビ剤、水

塗り面積：27～53㎡/4kg、107～213㎡/16kg

●用途

ログハウス、雨戸、羽目板、板壁などの未塗装木部、ラティス、

トレリス、プランターなど未塗装のガーデン用木製品

※樹種はスギまたはヒノキにもご使用いただけます。

※ハードウッドなど浸透しにくい木材には適しません。

※絶えず水がかかったり水に浸かるところやいつも湿っているところ、またウッドデッキなど**頻繁に歩行する床面には適しません。**

※ウッドエイド ボロンテックは太陽光などの紫外線遮蔽機能は有しておりません。

1. 新設の場合

ウッドエイド ボロンテックは塗装される環境によって塗装仕様が異なりますので、必ず予めご確認ください。

標準塗装仕様1（屋内や軒下など、雨・水に殆ど曝されない場所）

塗装する木材	針葉樹材（スギ、ヒノキ）
標準塗装	1～2回
素地調整	汚れや埃を取り除き、ヤニや油分はペイントシンナーで拭き取り良く乾かす。表面が荒れているときはサンドペーパー（＃180～＃240）をかけて平らにする。
塗り重ね乾燥時間	30分～1時間
木材含水率	18%以下
標準使用量	0.075～0.15kg/m ²
塗装方法	ハケ塗り、浸漬

標準塗装仕様2（屋外の外壁など常に雨・水に曝される場所）

塗装する木材	針葉樹材（スギ、ヒノキ）
標準塗装	1～2回
素地調整	汚れや埃を取り除き、ヤニや油分はペイントシンナーで拭き取り良く乾かす。表面が荒れているときはサンドペーパー（＃180～＃240）をかけて平らにする。
塗り重ね乾燥時間	30分～1時間
木材含水率	18%以下
標準使用量	0.075～0.15kg/m ²
塗装方法	ハケ塗り、浸漬
WA-F塗装（重要）	ウッドエイド ボロンテック塗布後、必ず完全乾燥後（乾燥時間24時間以上推奨）別売りのWA-Fを塗布してください。 標準使用量：0.075kg/m ²

注意事項

※ハードウッドなど浸透しにくい木材には適しません。

※塗り重ね乾燥時間を過ぎると、塗りにくくなるため十分注意してください。

※塗装条件により初期の撥水が弱い場合がありますが、時間とともに本来の性能を発揮していきます。

※ウッドエイド ボロンテックは着色塗料ではなく、紫外線遮蔽機能も有しておりません。着色や紫外線遮蔽機能が必要な場合は同シリーズ製品である「ウッドエイド カラーA」のご使用をおすすめします。

※WA-Fの塗装によりDOT（八ホウ酸二ナトリウム四水和物）の溶脱防止効果を付与できますが、溶脱を完全に防ぐものではありません。特に不燃木材など注入量の多いものには適しません。

※WA-FはDOT（八ホウ酸二ナトリウム四水和物）の溶脱防止剤です。

2. 素地調整

- 汚れや埃はウエスやブラシ等で清掃する。
- 油汚れやヤニが出ている場合、ペイントシンナーで拭き取る。ヤニの塊は金属ヘラ等で取り除いた後ペイントシンナーで拭き取る。油汚れやヤニの拭き取りが充分でない場合、吸い込みムラを生じ仕上がりが悪くなることがあるので注意する。表面が荒れているときはサンドペーパー（＃180～＃240）をかけて平らにする。
- ペイントシンナーで拭き取ったときはよく乾かす。
- 素地が湿っているとムラや塗装不良の原因になるので十分に乾かす。（含水率18%以下、望ましくは15%以下）

3. 塗装方法

ウッドエイド ボロンテックは塗装方法1と2があり、使用環境により異なりますので予め確認ください。

■塗装方法1

1（屋内や軒下など、雨・水に殆ど曝されない場所）

①塗る面のゴミ・ホコリ・泥・カビ・苔・藻などを十分に取り除きます。汚れがひどく落としにくい場合はデッキブラシなどで水洗いし、よく乾かします。

※他の塗料が塗装されている場合は塗れません。旧塗膜を十分に取り除いてから塗装してください。

※よく乾燥した木材をご使用ください（含水率18%以下推奨）

②ヤニの多い箇所はあらかじめラッカーうすめ液でヤニをふきとっておきます。

③目の粗い木はサンドペーパー（＃180～＃240）を軽くかけてから塗装します。

④本品が付着して困るところは、あらかじめマスキングテープなどで覆っておきます。

※床にこぼれると滑りやすくなりますのでしっかりと養生してください。

※不用意にこぼしたり、散布した場合、水生生物や植物に深刻な被害をもたらす場合がありますので、しっかりと養生し、周囲の環境を十分に整えください。

⑤ふたを開ける前に容器を逆さにしてよく振り動かして塗料を均一にし、必要量を口の広い容器に移します。使用中もときどきかき混ぜてください。

⑥薄めずそのまま塗装してください。広い平面の場合はコテバケを使用すると早くきれいに塗ることができます。性能を発揮するためには浸透と塗布量が大切です。特に1回目の塗装は丁寧に行い、できるだけ木材に浸透させてください。

※十分な性能を発揮させるには塗布量と浸透が重要です。特に1回目の塗装時は、下地に吸い込ませるようにたっぷり塗ってください。

※塗り過ぎには十分に注意してください。乾燥遅延やべた付きなどの支障がでる場合があります。

※初期の撥水が弱い場合がありますが、時間とともに本来の性能を発揮していきます。

⑦塗り重ねる場合は、乾燥する前に塗り重ねます。マスキングテープは塗料が手につかなくなったら剥がします。

※塗り重ね乾燥時間を過ぎると、塗り難くなるため十分に注意してください。

■塗装方法2（屋外の外壁など常に雨・水に曝される場所）

①上述の塗装方法1の①～⑦までを行った後、必ず完全乾燥後（乾燥時間24時間以上推奨）に、別売りのWA-Fを塗布してください。（標準塗布量：0.075kg/m²）

※ウッドエイド ボロンテックの浸透が不十分な場合や、塗布後の乾燥が不十分な場合、WA-F塗布後に白化する場合がありますので、必ず目立たない部分で試し塗りをしてください。

※着色や紫外線遮蔽機能が必要な場合は、同シリーズ製品である「ウッドエイド カラーA」をご使用下さい。

4. 塗装後のメンテナンス（塗り替え）

ウッドエイド ボロンテックは、日光や降雨により撥水性が低下してきたら塗り替え時期です。日光が当たる南面か日陰の北面か、雨の直接かかるかどうか等、塗装した箇所の条件により劣化の程度が大きく変わります。塗り替え時期の目安を参考に塗り替えを行って下さい。

◎塗り替え時期の目安

- 汚れがひどくなったとき。
- 撥水性が低下して水をはじかなくなったとき。

◎塗り替えの塗装仕様

- 新設の場合の塗装仕様に準じて行う。

◎素地調整

ウッドエイド ボロンテックの既塗装面

- 汚れや埃はウエスやブラシ等で清掃する。水洗可能な場所は水洗した後十分に乾燥させる。
- 油汚れやヤニが出ている場合、ペイントシンナーで拭き取る。ヤニの塊は金属ヘラ等で取り除いた後ペイントシンナーで拭き取る。
- カビやシミは市販のカビ取り剤・漂白剤で取り除いた後水洗し十分に乾燥させる。
- 表面の劣化が目立つ場合はサンドペーパー・ブラシ等を用いて劣化部分を取り除く。

ウッドエイド ボロンテック以外の一般塗料の既塗装面

- ウッドエイド ボロンテックは吸い込みのない材には塗装ができない。水をかけてみて水を吸い込まない場合は塗膜を完全に除去する必要がある。電動工具・サンドペーパー・塗料剥離剤等を用いて水が吸い込むようになるまで旧塗膜を取り除いた後、ウッドエイド ボロンテックの既塗装面と同様に素地調整を行う。
- 旧塗膜が完全に剥離しており、水をかけたときに水が均一に吸い込む場合は、ウッドエイド ボロンテックの既塗装面と同様に素地調整を行う。

5. 注意事項

- 表示の用途以外に使用しないでください。また、塗装方法に記載の注意事項もよく読んでから使用してください。
- 食器など直接食べ物が触れるところやテーブルなど長時間皮膚が触れるところには塗らないでください。
- 病人、妊婦、乳幼児、薬剤によってアレルギー症状やかぶれ等をおこしやすい方、特異体質の方がいる場所では取り扱わないでください。
- 犬小屋や鳥カゴ、その他ペットなどが舐めたり、かじったりするような木部には塗らないでください。
- 塗料が金魚や鯉などの魚類がいる池に入らないよう、また、草木などの植物にかからないよう十分注意してください。万が一植物にかかった場合は大量の水で洗い流してください。
- 塗料が河川、池、下水道に入らないよう注意してください。
- 塗料がすでに塗られている面や化粧合版には塗れません。
- 塗料がついても支障がない服装で作業をしてください。
- 塗装中、乾燥中とも換気をよくしてください。
- 素地調整は十分に行ってください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。部分的に湿っていると色むらになることがあります。
- 塗布量が少ないと耐候性など十分な性能が発揮できないので標準塗り面積を目安に塗装してください。
- 塗装後は24時間以上水がかからないように養生してください。
- 塗装時及び乾燥するまでの間、降雨が予想される場合や、気温5℃以下または湿度85%以上になることが予想される場合は塗らないでください。
- 下地の吸い込みの度合いによって仕上がりの状態や、乾燥性が大きく左右されますので、予め目立たない部分で必ず試し塗りをして、浸透性・下地への影響を確かめてから塗装してください。
- 木肌が滑らかでも1回目の塗装が十分乾燥した後、塗装表面にザラツキが生じた場合はサンドペーパー（＃320程度）を軽く当ててから2回目を塗ると滑らかに仕上がります。
- 塗り面積・乾燥時間・などは、素材・塗り方・気象条件等により多少異なります。
- 塗装後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 容器は塗料を使い切ってから捨ててください。
- やむを得ず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分してください。
- 床面に塗った場合、雨などで濡れているときや靴下のまま歩いたり、履き物の種類によっては歩行の際に滑りやすくなりますので十分に注意してください。
- 塗装したウッドデッキなどの床面と屋内を靴下で頻繁に出入りすると、屋内床面にシリコン成分が移行し、滑りやすくなってしまいますので、塗装後の床面は専用の履物を使用してください。
- ウッドエイド ボロンテックは完全防水ではないため、長時間水に浸される環境下では水が浸み込んでいきます。晴れた後乾燥し、また撥水します。

- ウッドエイド ボロンテックは着色塗料ではなく、紫外線遮蔽機能も有しておりません。着色や紫外線遮蔽機能が必要な場合は同シリーズ製品である「ウッドエイド カラーA」のご使用をおすすめします。
- 本書はウッドエイド ボロンテックをご活用いただくためのマニュアルであり、保証をするものではありません。

5. 救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに口をすすぎ、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けてください。

6. 危険表示



- アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ。
- 水生生物に毒性
- 長期的影響により水生生物に有害。

7. 保管方法

- 直射日光を避け涼しく乾燥した場所に貯蔵、施錠して保管すること。
- 凝固するのを避けるため0℃以下で保管しないでください。
- 残った塗料は、必ずフタをし、幼児の手の届かないところに保管し、子供が誤食・誤飲・いたずらをしないよう注意してください。

最後までご一読いただき誠にありがとうございました。